

各関係機関の長 様  
(農政担当)

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

令和2年度病害虫発生予察注意報第1号  
(果樹カメムシ類)

-----  
令和2年度病害虫発生予察注意報第1号

令和2年5月27日  
岐 阜 県

作物名 果樹 (ナシ、モモ、カキ、リンゴ、ミカン等)

病害虫名 果樹カメムシ類 (主にチャバネアオカメムシ越冬世代成虫)

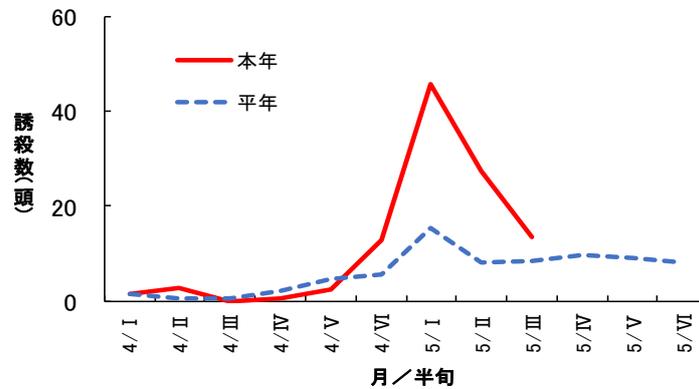
- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生時期 5月下旬～7月下旬
- 3 発生程度 多い
- 4 予報の根拠
  - (1) チャバネアオカメムシ越冬量調査 (令和2年2月) では、調査した11地点の平均越冬成虫量は3.5頭 (平年1.3頭) で、平年の約3倍と多かった (表)。
  - (2) フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、岐阜市では4月第6半旬から平年より多く推移し、美濃加茂市及び中津川市では5月第3半旬の誘殺数が平年より多かった (図)。
  - (3) 5月中旬におけるカメムシ類によるサクラ果実の吸汁果率は、池田町で73.3%と果樹園への飛来の目安となる75%に近づいている。
  - (4) 一部のカキ及びナシ園では、すでに越冬世代成虫の飛来が確認されており、気温の上昇とともに、飛来数が増える可能性が高い。
- 5 防除上の注意事項
  - (1) 果樹カメムシ類の被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
  - (2) 果樹カメムシ類の飛来は夜温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
  - (3) 防除に当たっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。
  - (4) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報 ([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) 農林水産消費安全技術センター) を参照し、適正に使用する。

表 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果

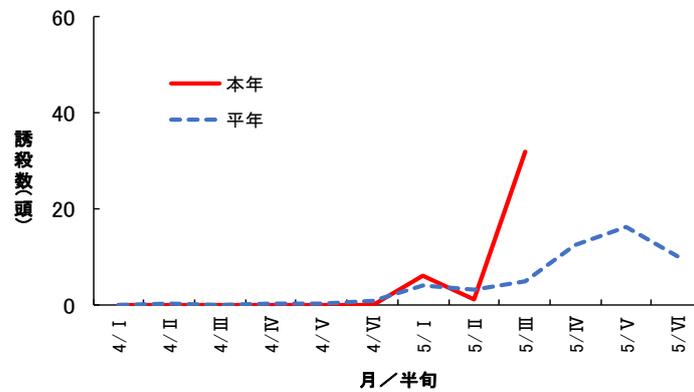
(調査時期:令和2年2月)

調査年度		R元	平年	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21
調査場所													
岐阜市	東秋沢	6	2.3	0	0	0	0	0	10	0	0	0	13
	彦坂川南	1	1.5	0	0	0	1	0	5	0	5	0	4
海津市	南濃町奥条	6	1.4	0	0	0	1	2	6	1	0	0	4
大野町	牛洞	1	0.3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
本巣市	法林寺	2	1.4	0	0	0	0	0	6	2	1	0	5
美濃市	曾代	5	2.3	3	2	3	4	0	1	1	3	1	5
美濃加茂市	山之上西洞	7	1.5	0.5	0	1	1	2	4	0	1	0	5
	山之上中之番	8	0.9	1	0	1	2	0	2	0	0	0	3
中津川市	落合	0	0.3	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
	阿木	0	0.8	2	0	0	0	2	1	1	0	0	2
恵那市	武並	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	3.5	1.3	0.9	0.4	0.5	0.9	0.6	3.8	0.5	1.1	0.1	4.3

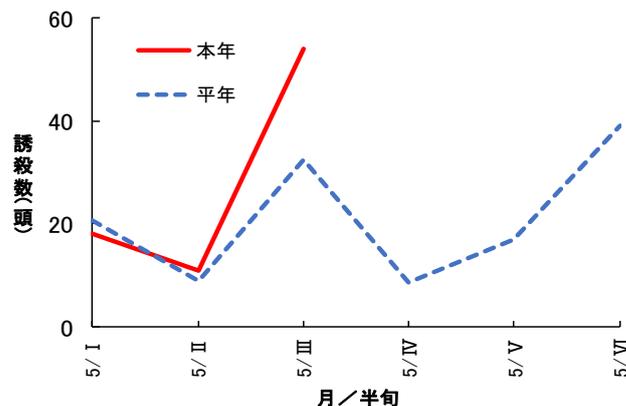
調査地点1カ所あたり50Lの落葉を採取し、ハンドソーティングにより調査



岐阜市則松



美濃加茂市山之上町



中津川市落合

図 フェロモントラップ誘殺数(チャバネアオカメムシ)の推移